

旧岩崎邸庭園 和館の公開を一時中止いたします

旧岩崎邸庭園の和館では、地盤沈下が発生していることから応急処置を続けてきましたが、その後も沈下が続いているため、このたび、沈下を抑制し建物の基礎を補強する工事を行います。

この工事に伴い、平成23年3月から5月にかけて、和館の公開を一時中止させていただきます。

ご来園いただいた皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、洋館及び撞球室につきましては、通常通り公開いたします。

記

- 1 公開中止期間 平成23年3月1日（火）から平成23年5月中旬まで(予定)
※工事完了後、安全確保及び公開準備のための期間を経たからの公開となります。
※文化財保護の必要上、工事期間が長引く場合もあります。
- 2 工事概要 和館について、主に下記の作業を行います。
 - ・外周を足場及び仮囲いで覆います。
 - ・基礎の下部（地中）にコンクリートを注入し、補強します。
 - ・地盤沈下によって生じた建物の歪みを元に戻します。



<参考>

都立旧岩崎邸庭園

住 所 台東区池之端1-3-45

電 話 03-3823-8340 (旧岩崎邸庭園サービスセンター)

交 通 東京メトロ千代田線「湯島」下車徒歩3分

東京メトロ銀座線「上野広小路」下車徒歩10分

都営地下鉄大江戸線「上野御徒町」下車徒歩10分

JR山手線「御徒町」下車徒歩15分

入園料 一般及び中学生 400円 65歳以上 200円

※小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料

開園時間 9時～17時 (入園は16時30分まで)



<資料>

旧岩崎邸概要

旧岩崎邸は、明治29年(1896年)に三菱創始者・岩崎家本邸として建てられました。現存するのは洋館・撞球室・和館の3棟で、このうち、洋館、撞球室は英国人ジョサイア・コンドルによって設計されたものです。

洋館と結合された和館は書院造りを基調とし、橋本雅邦が描いたと伝えられる日本画などが残っています。巧緻を極めた当時の純和風建築を垣間見ることができます。

昭和36年(1961年)に洋館と撞球室が重要文化財に指定され、その後、昭和44年(1969年)には和館が洋館東脇にある袖塀と共に、平成11年(1999年)には煉瓦塀を含めた屋敷全体と実測図がそれぞれ重要文化財に指定されました。

文化庁による修復工事完了後、和館と庭園は平成13年10月から、洋館は平成15年4月から一般公開しており、都立庭園として多くの方のご来園をいただいています。

【園内案内図】

